

(別添資料1)

事業所名

障害児通所支援事業所フアーナウ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

3 月

27 E

法人（事業所）理念		お預かりする子どもたち、そしてその家族まで目を向けた支援を大切にします。寄り添い支えていく、そんな家族のような存在になるよう従業員一同努めてまいります。							
支援方針		・一人一人に寄り添った療育 ・課題や特性に配慮した個別療育を行う。 ・お子さまだけではなく保護者様、ごきょうだいまで目を向けた家族支援を行う。							
営業時間		平日 学校休業日	10 9 時	00 00 分から	19 18 時	00 00 分まで	送迎実施の有無	放デイ 児発	あり なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・活動時の健康観察、体調や感情の変化に留意する。子どもたちの心身の異変に気づき支援していく。 ・子どもたち一人一人に適した身体的、精神的、社会的な適応ができるソーシャルスキルを活動の中で身につける。 ・食事（おやつ）、手洗いや排せつなどの基本的な生活習慣を身につける。							
	運動・感覚	・トランポリン、バランスストーン等を使用しバランス感覚を養ったり体幹を鍛える。 ・リズム遊びを行ったりピアノに合わせて歌を歌ったり音楽を聞くことで感受性を高め、リズム感や表現力を育てる。 ・一定時間着座して学習に取り組んだり、日常生活に必要な動作の基本となる適切な姿勢の保持を身につける。							
	認知・行動	・時間別活動を示すタイムスケジュールの確認や学習や遊びのじかんではタイマーを使用し時間の認知を形成する。 ・活動の中でミスを指摘されても受け入れる力や修正力を養う。 ・粘土などの物質の変化や感覚の認知、ブロックや積み木遊びの空間把握等、物の個数や形、重さ、色、機能や属性の認知形成。							
	言語 コミュニケーション	・発語や言語でのコミュニケーションが難しい児童には、絵カードやジェスチャー等を使い、コミュニケーション能力を高める。 ・読み書きについて発達段階に応じた支援を行う。 ・一日の活動を振り返り自分の言葉で発表するなど、言語を表出する機会を作る。							
	人間関係 社会性	・集団活動では手順やルールを説明し、理解して遊びや集団活動に参加できるように支援する。また、仲間と協力して活動や遊びを通して社会性の発達を支援する。 ・安心できる環境のもと、子どもが身近な人との信頼関係や社会性、対人関係が築けるように支援する。 ・課外活動等で社会体験や地域との交流を行い、外出時のマナーや社会性を身につける。							
家族支援		・連絡帳での活動内容の報告や送迎時に当日の様子や家での様子などをお伝えしたり、お伺いしたりする。 ・家族の困りごとなどがあれば共有し相談や必要に応じて面談を行う。				移行支援		進級、転勤などの相談を行う。	
地域支援・地域連携		・自立支援協議会への参加。 ・必要時には学校や相談支援専門員、他事業所などへの情報を共有する。				職員の質の向上		・事業所内や外部講師のよる研修を積極的に行う。 ・活動内容や児童の様子についての振り返りを毎日行い記録する。	
主な行事等		・季節ごとの行事（お花見、七夕、ハロウィン、クリスマス、お正月など） ・児童の誕生月にお誕生日会を開催。 ・土曜日、長期休暇には課外活動を定期的に行う。							